

前川喜平（まえかわきへい）さん

経歴

- 1955年1月13日 奈良県御所市生まれ
- 1963年7月 東京に転居
- 1979年3月 東京大学法学部卒業
- 1979年4月 文部省入省
- 1982年7月～1984年7月 長期在外研究員としてイギリス（ロンドン大学及びケンブリッジ大学）に留学
- 1986年9月 宮城県教育委員会行政課長
- 1989年2月 日本政府ユネスコ常駐代表部一等書記官
- 1994年6月 文部大臣秘書官
- 1997年7月 文化庁宗務課長
- 1998年7月 中央省庁等改革推進本部参事官
- 2000年6月 初等中等教育局教職員課長
- 2001年7月 同財務課長
- 2004年7月 同初等中等教育企画課長
- 2006年7月 大臣官房総務課長
- 2007年7月 初等中等教育局担当審議官
- 2010年7月 総括審議官
- 2012年1月 大臣官房長
- 2013年7月 初等中等教育局長
- 2014年7月 文部科学審議官
- 2016年6月 文部科学事務次官
- 2017年1月 退官
- 2017年2月～現在 自主夜間中学「福島駅前自主夜間中学」及び「あつぎえんぴつの会」のボランティア講師
- 2018年3月～現在 現代教育行政研究会代表
- 2018年4月～現在 日本大学文理学部教育学科非常勤講師



研究教育業績

学位：1984年7月ケンブリッジ大学国際関係学修士（M.Phil. International Relations）取得

修士論文テーマ：The History and Development of UNESCO

所属学会：基礎教育保障学会（理事）、日本教育政策学会、日本義務教育学会、日本学習社会学会

教職歴：1997年4月上智大学文学部教育学科非常勤講師（教育行政学担当）（～2005年度）、2018年4月日本大学文理学部教育学科非常勤講師（教育学特殊講義担当）（～現在）

著書（単著）

『詩集 さよならコスモス』（1981年12月 自費出版）

『教育行政学テキスト』（2005年4月 自費出版）

『面従腹背』（2018年 毎日新聞出版）

『権力は腐敗する』（2021年 毎日新聞出版）

『コロナ期の学校と教育政策』（2022年 論創社）

著書（共著）

城山英明・細野助博編著『続・中央省庁の政策形成過程—その持続と変容』（2002年5月 中央大学出版部）

文部科学省地方教育行政研究会編著『Q&A 改正地方教育行政法』2014年10月ぎょうせい

『これからの日本、これからの教育』（2017年11月 ちくま新書）

埼玉に夜間中学を作る会・川口自主夜間中学編『夜間中学と日本の教育の未来』（2018年 東京シュール出版）

木村草太編『子どもの人権をまもるために』（2018年 晶文社）

『前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る』（2018年 明石書店）

『前川喜平が語る、考える。』（2018年 本の泉社）

『前川喜平「官」を語る』（2018年 宝島社）

『イマドキ家族のリアルと未来』（2018年 かもがわ出版）

『みんなをつなぐ—包摂と寛容の社会をめざして』（2019年 奈良人権部落解放研究所）

『同調圧力』（2019年 角川新書）

『ハッキリ言わせていただきます！』（2019年 集英社）

『生きづらさに立ち向かう』（2019年 岩波書店）

岡本有佳・アライ＝ヒロユキ編『あいちトリエンナーレ「展示中止」事件 表現の不自由と日本』（2019年 岩波書店）

『官僚の本分』（2020年 かもがわ出版）

『この国の「公共」はどこへゆく』（2020年 花伝社）

『談論風発 琉球独立を考える』（2020年 明石書店）

油布佐和子編『教育と社会』（2021年 学文社）

南原繁研究会編『南原繁と戦後教育改革—意義と継承』（2021年 横濱大氣堂）

『「自由」の危機—息苦しさの正体』（2021年 集英社）

「ストップ！国政の私物化」（2021年 あげび書房）

人文社会系学協会連合連絡会編『私たちは学術会議の任命拒否問題に抗議する』（2021年 論創社）

『右傾化・女性蔑視・差別の 日本の「おじさん」政治』（2021年 くんぶる）

『日本の教育、どうしてこうなった？』（2022年 大月書店）

『教育鼎談』（2022年 ミツイパブリッシング）